

しろくま つうしん

第6号



© @ butabulo

10月に入ったらいきなり寒くなってきましたね。皆さま、暑かった夏の寒暖差で体調をくずさない様に、くれぐれもお気をつけください。

果物の収穫シーズンを迎え、農家の皆さんが大切に育てたブドウやリンゴが、全国に旅立っていていますね。町では名誉町民の皆さまにブドウなどを送りしました。届いた名誉町民の方から、とてもおいしかった！とご連絡をいただいで、とても嬉しい気持ちになりました。

山ノ内町旅先納税® 「山ノ環(ヤマノギフト)」

ふるさと納税を強化するために、10月から旅先納税®がスタートしました。旅行などで山ノ内町を訪れた方が、その場で納税して返礼品を受け取ることができたり、宿泊代として支払うことができる制度です。長野県内では軽井沢町に次いで2番目の導入にな



山ノ内町のファンをひとりでも増やし、山ノ内町にふるさと納税をしていただく仕組みをつくるのが重要だと考え、旅先納税®の導入に至りました。ロゴもこだわりがあり、りんごのシルエットの中心に岩菅山・笠岳・高社山、温泉に入る猿やスキーのゴンドラなどを加え、山ノ内町を表現しています。

旅先納税を活用するには、地元のホテルや旅館、飲食店の皆さまのご協力が必要です。の皆さまと納税を倍増させ、ふるさと納税を倍増させるためにもご協力ください。旅先納税やふるさと納税の寄附額が増えると、さまざま

な町民サービスに反映させることができます。



写真右から平澤町長・株式会社JTB長野支店 太田洋介支店長

小学校統合について

9月27日に開催された総合教育会議で、教育委員の方々と話し合いました。アーカイブでもその内容をご覧くださいいただけます。

学校の統合は100年に一度の一大事業です。これから移住者を増やし、町の経済を活性化し「孫達が帰ってきたくなる町」をつくろうとしている今、多額の税金を投じて学校を新しくつくるのであれば、他のどの小学校よりも魅力的で、移住者も、この町の人も、この町で教育を受けたいと思うような、そんな

『魅力的な教育内容と教育環境』をつくるべきです。

これから日本の国際化が進む中、「話せる英語教育」は必須です。ESD(※)教育などの良い内容は引き続き伸ばしつつ、ALIT(※)を増やすなどして英語を強化することは可能だと考えます。

将来は外国人の町民も増えることが予想され、インターナショナルスクールの設立も視野に入れていく必要があります。統合問題だけではなく、教育内容についても引き続きしっかりと議論していきます。

国も少子化対策に乗り出す今、山ノ内町としても子育てのしやすい魅力のある町づくりに向けて、同じ方向性で進めていきたいですね。

※ESD: 持続可能な開発を実現するために発想し行動できる人材を育成する教育。
※ALIT: 外国語指導助手。

の確
議らら
会ちか
育ドす
教は一
合容コ
総内QR
認でき
認です



寄附をいただきました

セイコーエプソン株式会社から町内小中学校の児童・生徒全員に対し再生紙学習用ノート等の寄付をいただきました。

企業としての環境への取り組みの一環として、社内で使用済の古紙を自社製乾式オフィス製紙機にて再生し、その再生紙を用いたノートを県内市町村の小中学生に配布することで、環境保護活動を身近に感じ、ESDやCO₂削減の意識向上に繋げてほしいとの意向です。

寄附いただいた再生紙学習用ノートは町内各小中学校へ配布するとともに、再生紙は片内業務にて有効活用させていただきます。ありがとうございます。



写真左からセイコーエプソン株式会社 窪田美彦 総務部長・平澤町長